

令和5年度第1回新居浜市社会教育委員会議 議事録

- 1 開催日時 令和5年8月30日(水) 18:30~19:45
- 2 開催場所 新居浜市役所庁舎3階 応接会議室
- 3 出席者 ≪委員≫篠原雅士議長、安藤進一副議長、
渥美芳晴委員、伊藤嘉秀委員、岡野弥生委員、加藤聡志委員
加藤すみれ委員、神田未知生委員、日野右子委員、藤原説夫委員、
松山明子委員、明星孝典委員、山内保生委員
(計13名)
≪市教委≫木俣事務局長、竹林総括次長、河野副課長、和田係長、河村主査
高橋専門員
- 4 欠席者 ≪委員≫秋月恭子委員、矢野雅士委員 (計2名)
- 5 事務局挨拶(事務局長)
- 6 自己紹介
各委員、事務局の順に自己紹介
- 7 議長、副議長選出
議長に篠原雅士委員、副議長に安藤進一委員を選出。

8 議事

(1) 令和5年度社会教育関係事業について

≪資料に基づき、事務局説明≫

(議長)

ご意見がありましたらお願いいたします。

(委員)

当会議所でも青少年事業をさせていただき、本当にありがとうございます。今年は大島での体験活動でしたが、私も実際に参加して、子どもたちと一緒に触れ合ってきました。子どもたちが普段経験できないような体験や学び、大島の歴史に対して、私自身も知らないこともたくさんありましたし、子どもたちも驚きや学びを感じられたのではないかと思います。はたちの集いについては、旧成人式なので、18歳の成人たちにも何かアプローチしても面白いのではないかと思います。

(事務局)

今年度は大島で7月29、30日にキャンプを開催したとの記事を新聞でも拝見し、素晴らしい事業をしていただいたと思っております。はたちの集いにつきましては、アンケートに目を通していただき、今後のあり方について、もう少し掘り下げた形でお話いただければありがたいと思います。それと18

歳の方にも何か事業をとのご意見でしたので、それも含めまして、皆様のご意見をいただければありがたいと思います。

(委員)

はたちの集いについては、15歳から20歳の子たちがこれだけアンケートに回答してくれたことはすごくありがたいと思います。この色々な意見を一つでも二つでも叶えてあげたいと思います。子どもたちから出ている意見は、あまりにも多いので大変だとは思いますが、色々な思い出のアルバムの様な映像を流すことは可能ではないかと思います。何ができるか何をしたいかを、市が主体というよりは、その運営や計画に参加したいという方たちがいるので、その人たちに企画段階から考えてもらい、ぜひ全員が中に入って楽しめるようなはたちの集いになればと思います。

(委員)

資料では放課後まなび塾などで、その開催された校区の数字を報告されているのですが、若宮地区は惣開小学校区として一つと考えているのか、それとも惣開と若宮とは分けて考えているのかを教えてください。

(事務局)

放課後子ども教室は若宮公民館で、若宮地区の小学生を対象に実施しています。見学した時には、折り紙や縄跳びなどをしていました。隣にはワクリエもありますので、そういった場所も使いながら実施しています。

(委員)

はたちの集いについてですが、私も若い人たちがこうして欲しいと思うことを、一つでも実施、達成できるのであれば、それを実施して、その意見をいただいてと、少しずつ良いはたちの集いにしていいただければと思います。

(委員)

非常に幅広く、公民館活動から学校やお子さんたちの教育まで多岐にわたる事業をされているのだなと非常に感心しております。はたちの集いについては、現状どの様に運営されているのかわかりませんが、他の県等見ていますと、いわゆる実行委員のような形でその当事者が参画して、企画から運営のところまで、それぞれその濃淡はあると思うのですが、実施されているところもあると思います。その関心度の高い集計結果は、目に見える形で出てきているため、何かしらその当事者にも参加していただき、よりいいものにしていただけると、本人たちのいい思い出にもなると思いますし、いい学びの機会になると思います。

(委員)

まず1点、青年会議所の方が活動されているのですが、私も以前しまなみ海道を自転車で渡るイベントに、子どもと一緒に参加させていただき、その際お世話をされる方は非常に大変だったと思うのですが、今回もたくさんの方が参加されてご苦労があったと思います。それともう1点、はたちの集いですが、やっぱり参加人数の対象者数が年々減っているのですが、これは少子化や住民票の関係でしょうか。

(事務局)

少子化の影響が大きいです。あと20年先のことになるのですが、昨年度は出生数が750人を切るといった状況になっていますので、今までより減っていくスピードも速くなっていくというのが現状です。

(委員)

学校という立場で話をさせていただくと、恩恵を受けることが大変多く、いつも感謝しています。市内の小学校・中学校全てコミュニティ・スクールということで、地域の助けを得ながら地域と連携しながら教育を進めています。その中でも地域学校協働本部が、ちょっと相応しくないかもしれませんが、教育の中でも実働部隊といいますか、実際に助けていただく授業がありますので、大変ありがたいです。

地域の方でも、助けていただく人材については色々と当たってはいるのですが、本校は小さな学校ですので、実情としてはなかなか厳しい問題があり、人材バンクを市でまとめていただければ大変ありがたいです。それから放課後まなび塾も非常にありがたいと思っています。社会が変化している中で、放課後に子どもたちが家庭に帰り自分たちだけで過ごすという時間も多いため、放課後にボランティアの方が学習支援等をしていただくことで、学校だけでは十分に行うことができない学習支援、また安全面でも大変助かっています。地域全体で育てていただいているし、全体で新居浜市の子どもたちを育てていただいております。校長会でも、放課後まなび塾や放課後子ども教室について、どの様なことをしているか情報交換をしています。

(委員)

私はボランティア連絡協議会から参加していますが、ボランティア協議会の中にも数多くの福祉の方やまちづくりの方等色々な方が、この街を素敵ないい街にしようと思って取り組んでいます。毎月1回、定例会をしていますので、たくさんいただいた資料を持ち帰り、今日勉強したことなど、また皆さんと一緒に色々なことを教えていただきながら、この街そのもの、子どもたち、そして私たちが成長して行って、素敵な街になるようにご一緒に頑張ろうと、そんな風に思いました。

個人的には新居浜市おもちゃ図書館きしゃポッポで、障がいのある子もない子も素敵に大きくなって新居浜に暮らして良かったと思ってもらえるように頑張っています。

(委員)

色々な行事が各公民館で実施されているので、なかなか大変なことだと思います。連合自治会も、加入率がだんだん減少しており実際の加入率というの半分ぐらいなので、自治会や公民館の行事も参加者がその地域の半分くらいとなり、地域全体になかなか広がらず、もどかしいところがあります。そのような中で、防災については、自治会員であろうがなかろうが関係なく、災害の時にはどこかへ避難しなければなりません。これは新居浜市に住んでいる人だけではなく、何かあった時には市外から旅行に来られている方も一緒に避難所で活動するというようなことを踏まえながら、どうすれば地域の活動の輪が広がっていくのか、今後公民館でも、連合自治会でも検討していかなければならないと思います。あと、はたちの集いについては、最後の総括のところに「一つでも新しいことができるように」と書かれているように、せっかく色々な意見が出ていますので、全てという訳にはいかないと思いますが、できることから、叶えてあげればいいのではないかと思います。

(委員)

色々な取組をお伺いして、特に教育関係で地域の色々な方が学校のために力を貸していただいているということを改めて学びました。私達県立学校でも、本当に働ける年代の人が減ってきており、例えば支援員さんなどを探す際も、引き受けていただける方がいなくなってきていて苦労しております。市の小・中がどうしても優先ではあると思うのですが、力を貸していただけるような人材に関する情報等もお願いするときもあるかと思います。はたちの集いにつきましては、高校では、アンケートを

生徒に配り、回答を促しました。また、数年後に参加することになる生徒たちの考えをより詳しく聞きたいという事がありましたら、高校でも呼びかけたいと思います。

(委員)

新聞社の立場というのは、新規性や、規模、また地味でも社会的な意義があるなどで判断し取材をして紙面に紹介しようとしております。先ほども大島の話が出ましたが、それに限らず、自分の昔の経験から公民館を回っていた時期もありましたので、そこに面白い人がいる、こんなことをやっている人がいるなど地域を歩くことで紙面を通して紹介し広く知っていただく、というような役割が新聞にあらうかと思っています。また、取っ掛かりとして、この資料だけでは内容がはっきり分かりませんが、「市内中・高校生のための進路相談事業」はどんなことをしているのかというような疑問もあり、記事にならないかと個人的に思っています。紙面を通して、このような社会的事業をやっているということを、県内の方に知っていただき、新居浜ではこんなことをしているのか、また他所の方にも知ってもらえるのではないかと、またお互いに情報交換ができるようになるかもしれません。そういう役割を持っていると思っていますので、可能であれば、取り上げていきたいと思っています。はたちの集いについては、式典 30 分で、プラス追加の行事をとということで、できるものはやってはどうかと思っています。やっとうまくいかなかったらやり直すなど、試行錯誤しながらやっていけばいいと思います。昨年の会議の際に、「成人式では、式場になかなか入らない、あるいはバイクで走り回る、というようなことがあり、どうしてこうか。」といった話もあったのですが、今年の 1 月に少し様子を見に行ったところ、昨年言われたような感じには見受けられませんでした。実際どうだったのかをお聞きしたいと思います。

(事務局)

今年の状況を少しお話しさせていただくと、本当に粛々とした式典でした。会場の外で大騒ぎをする、よく成人式で話題になる悪目立ちではないですが、会場の周りで一升瓶を抱えてというような光景は、比較的に見られませんでした。式典もコロナの関係で最低限ということで、30 分足らずの式典でしたが、代表の方は、粛々と自分の意見を述べられていました。少し紹介すると、「コロナの影響で自分の進みたい道を諦めた者もいる。これから先にも思い通りにならないことや、躓くこともあると思うが、この経験を糧に乗り越えていきたい」というように、私も聴かせていただいて、非常に胸が詰まるような思いでした。このような式典の様子をできれば、もっとたくさんの方に見ていただきたいと思っていますので、ホームページなどで紹介する方法も考えてみてはどうかと考えております。

(委員)

毎年 8 月の第 1 土曜日、女性フォーラムを開いていたのですが、コロナの関係で 3 年間できずに今年 4 年ぶりに開催しました。以前のように大々的にはできないけれども、今私たちのできる最善のものをしていきたいと思います。規模は小さくなったのですが、今年は開くことができました。やはり、本当に目立つことはなくても、普通の当たり前の生活というのが本当に大事だということが身に染みたコロナの自粛期間だったと思います。はたちの集いですが、「新居浜に生まれ育ってよかったと思えるような心に残る式になることを願います。」「新居浜はいいな、新居浜で育ってよかったと思える集いを目指すべきだと思います。」とあるように、予算がなくて、芸能人を呼ぶといったイベント的なことはできなくても、スライドショーの実施や、フォトスポットが何か所かあったらいいと思います。手間はかかると思うのですが、お金はかけなくても参加してよかったと思えるような式典を目指したらいいと思います。それと、やはり 18 歳が成人なので 18 歳への働きかけも少

し考えていただければと思います。

(委員)

はたちの集いについては、昨年度の会議で、若者は自分たちで企画したもの、また自分たちで運営しているもの、それをみんなで支えようという気分が乗ってきたら、非常に物事がうまく進行することが多いと私の経験上知っていることから、成人式の内容を企画したり、運営するところに対象者を入れたらどうかと提案し、名前もそれに相応しい名前にしましょうということで「はたちの集い」ということになったと思います。アンケートの内容を見てみると、とても常識的で好ましい内容となっており、非常に私も嬉しく思いました。3ページの、「5 はたちの集いの企画や運営に参加したいと思いますか。」の問いに、「参加したくない」という人数が多いように思いますが、これは、恐らく元の成人式のイメージが残っており、あまり興味がわからないからではないかと思いました。先ほど言われていた、市民文化センターまでは来るのだけど、会場の中に入らず、友達同士で集まって、盛り上がっていることについて、私も何度か成人式に参列しましたが、中に入ればお酒の入った新成人が、舞台上上がり、司会をしている新成人の妨害をしているのも、見たことがあります。それは極端な話で、事務局の説明のように、昨年度は非常に好ましい状況とのことで、本当に安心しました。実行委員会のメンバーをどの様を選ぶか、これからアイデアを出すところだと思いますが、いろんな意見を集約して、同級生が企画・運営しているのだから、自分たちも参加して盛り上げないか、という機運になっていってくれば、非常にいい形になるのではないかと思います。何年か継続していくと、恐らく参加したいという人数がもっと増えてくると思います。同世代が集まって意見を集約して、自分たちの企画ではたちの集いが行われるということをもっと知らせて、それなら行こうという機運に持ってってもらいたいと思います。我々も微々たる力なのですが、何か協力できればと思います。

(事務局)

何点かご質問等いただいたので、補足させていただきます。まず、自治会の加入率も減ってきて、地域の活動の広がりが見えないのではないかというご意見がありました。現在、中萩校区と宮西校区で新しいまちづくり組織を、自治会等を中心として地域の諸団体がゆるやかにつながり、地域を支えていこうという取組を始めたところです。その取組の一つとして、先ほどの人材バンクの話がありましたが、二つの校区でも、色々な特技を持っている方に登録していただき、学校や地域の困りごとがあったときに助けていただけるような、人材バンクを作ろうじゃないかという話もあります。まちづくり組織等で、人材バンク等名簿ができましたら、状況を案内させていただきたいと思います。はたちの集いのアンケートにつきましては、各高校にお問い合わせに行きました。千人を超える方、ほとんどが高校生だと思いますが、アンケートに協力をいただきありがとうございました。多くいただいた意見に、フォトスポットがあります。2年前に青年会議所でフォトスポットを3か所設置していただきました。そういったことも参考に、フォトスポットも検討したいと思っています。また、フォトスポットと一緒に、青年会議所からモニュメントをいただきました。中央公園に「新」という文字のモニュメントです。今もステンレスで光り輝く綺麗なモニュメントですので、はたちの集いの時のフォトスポットの一つとして紹介したいと思います。本当にたくさんのご意見をいただいたので、一つでもできるところからやっていきたいと思っています。次に、実行委員会方式について、参加したいというご意見もたくさんありました。ただ、新居浜市は、二十歳の方が、進学や就職で、非常に少ないというところがあります。直接二十歳の方と、実行委員会が式典の企画段階から参加できるような方法を考えてみたいと思っています。

(議長)

その他に何かご意見がございましたらお願いします。

(委員)

はたちの集いには、二十歳の方にぜひ参画してもらいたいという話がありましたが、二十歳の方の多くは大学生だと思います。大学生はコロナの影響でWebでの授業等が当たり前になっている世代ですので、Zoomで参加を呼びかける等の取り組みなら簡単にすぐ始められるのではと思いましたので、それだけ提案させてください。

(事務局)

本当におっしゃる通りで、今の若者ですので、そういうことに対しては抵抗も少ないと思いますから、ぜひ取り入れてみたいと思います。

(議長)

他にございますか。

(委員)

先ほどの説明の、その他の事業(1)補助事業で、市内中・高校生のための進路相談事業というのがありますが、中身はどのようなものでしょうか。

(事務局)

補助事業で、進路支援をしたいという団体がありまして、具体的には、先輩の大学生と、オンラインで実際の大学でどんな授業を受けているのか、どんな生活を送っているのかなどを紹介したいということです。まだ、具体的な取組については、団体から話はないのですが、実施状況については、来年度、ご報告させていただけるのではないかと思います。

(委員)

当社も含めて、人手不足の状況であり、また子どもの数が少なくなっていくという話もありました。新居浜市内にいい会社がたくさんあると思いますので、そのような会社を紹介する等、例えば大学への進学で市外に行ったとしても、将来新居浜に戻ってくる、そういったアピールができればいいのではないかと思います。

(議長)

ありがとうございました。以上で議題1 令和5年度社会教育関係事業について終了させていただきます。

(2) その他

《事務局より令和5年度愛媛県社会教育研究大会の案内》

(議長)

以上をもちまして、令和5年度第1回社会教育委員会議を終了いたします。ありがとうございました。